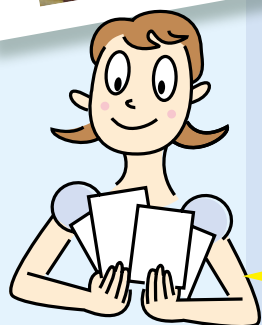
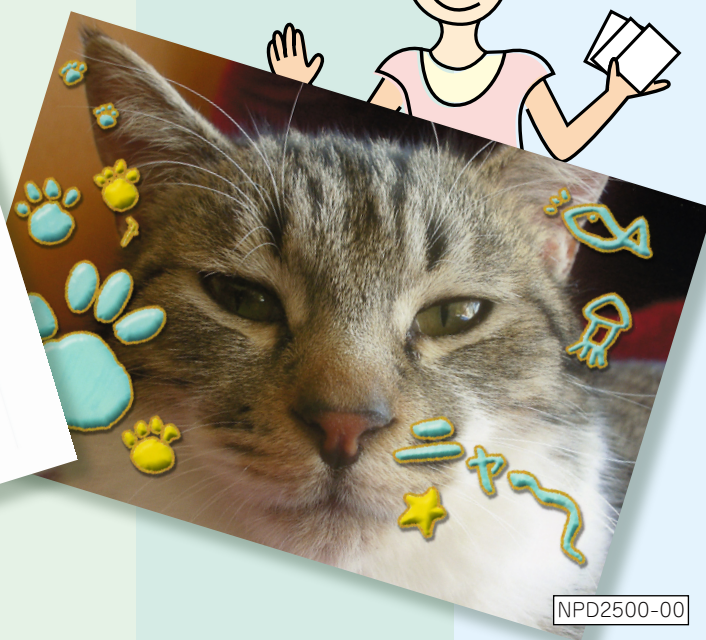
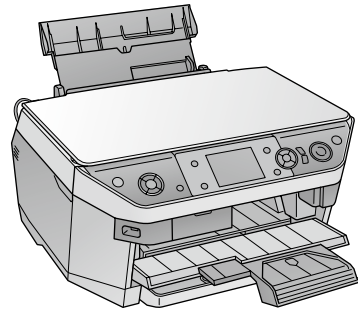
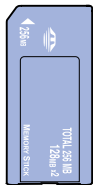
PM-A920
EPSON
EXCEED YOUR VISION
ピカピカの
1年生
になりました!!
おたんじょうび
おめでとう
楽しいカンタン!
手書き合成
簡単ガイド
気持ち伝わる!
暑中お見舞い
申し上げます。
ニャ〜
NPD2500-00

「手書き合成」とは？

パソコンを使わずに、手書きした文字やイラストと、写真を合成して印刷する機能です。
お好きな写真をレイアウトして、自由なアイデアで文字やイラストを合成しましょう！
すてきな年賀状やグリーティングカードなどを、簡単につくることができます。

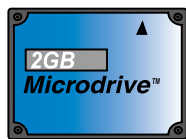
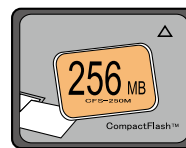
用意するもの

PM-A920本体

合成する写真が入ったメモリカード（いずれか1枚）

メモリースティック
メモリースティックPRO
マジックゲートメモリースティック

メモリースティックDuo*
メモリースティックPRO Duo*
マジックゲートメモリースティックDuo*

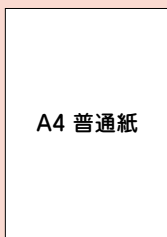
miniSDカード*
miniSDHCカード*
microSDカード**
microSDHCカード*

xD-Picture Card™
xD-Picture Card™ Type M
xD-Picture Card™ Type H

SDメモリーカード
SDHCメモリーカード
マルチメディアカード

マイクロドライブ

コンパクトフラッシュ

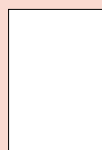
*専用アダプタが必要です。

上記は2006年9月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページでご案内しています。（http://www.epson.jp）

用紙

手書き合成シート用

A4 普通紙

手書き合成シートを印刷する際に使用しますので、汚れのないものを必ずご用意ください。

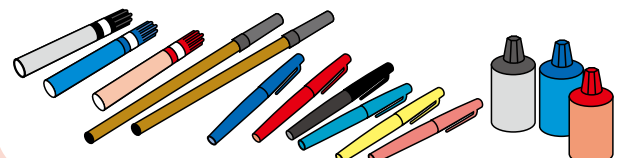
合成写真の印刷用

合成写真を印刷します。
以下の用紙に対応しています。
・L判の写真用紙
・ハガキ
・フォトシール フリーカット
・ミニフォトシール

ペンなどの筆記用具

！注意

文字や絵は、かすれにくい筆記用具を使用してください。
以下の文字やシール、ステッカーは、正常に合成されないことがあります。

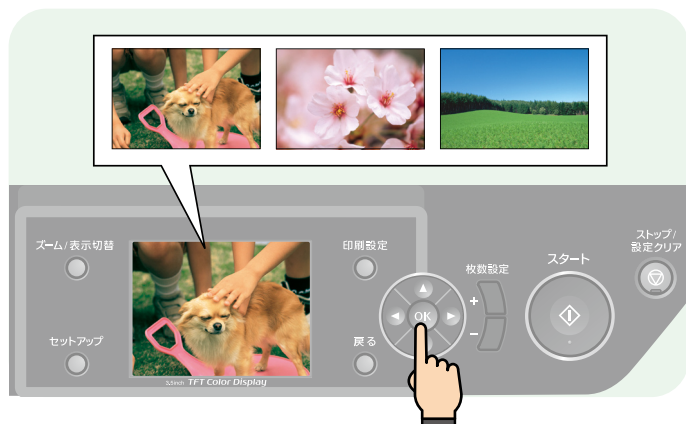
- ボールペンやシャープペンシルなどによる細い文字
- クレヨンや色鉛筆などによるかすれた文字
- 淡い色で書かれた薄い文字
- 背景が手書きエリアに印刷された写真画像と同じような淡い色のシールやステッカー
（☞本書13ページ「シールやステッカーの切り抜きなどが正常に合成されない。」）
- 蛍光ペンなどの蛍光塗料で書かれた文字

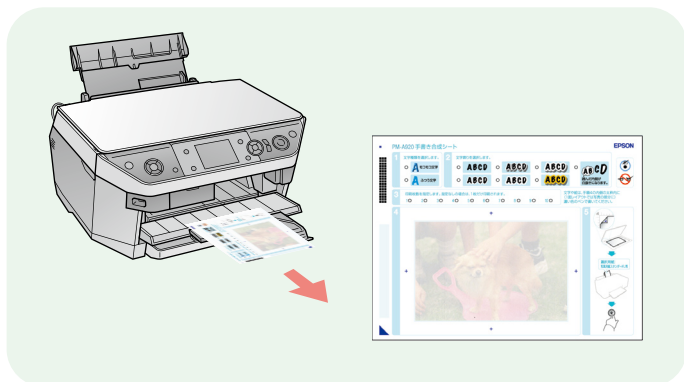
また、金色などの文字は、正しく色が合成されません。

手書き合成にチャレンジ！

お好みの写真に手書きの文字やイラストを合成するまで

1 デジタルカメラで写真を撮ります。

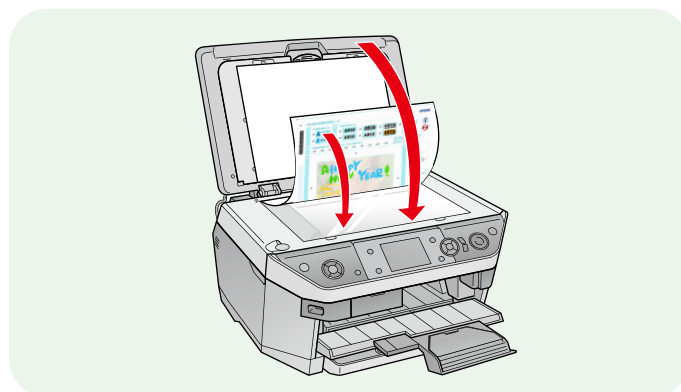
2 メモリカードをPM-A920にセットして、好きな写真を選びます。

☞本書5～6ページ
「ステップ1 手書き合成シートを印刷する」

3 A4 普通紙に手書き合成シートを印刷します。

☞本書5～6ページ
「ステップ1 手書き合成シートを印刷する」

4 手書き合成シートに文字やイラストを書き込みます。

☞本書7～9ページ
「ステップ2 手書き合成シートに記入する」

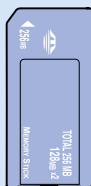
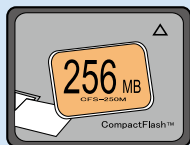
5 いろいろ書き込んだシートを原稿台にセットして読み込みます。

☞本書10ページ「ステップ3 手書き合成シートをスキャンして合成写真をプリントする」

6 メモリカードの中の写真と合成してプリントします。

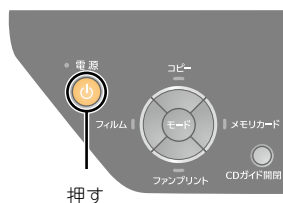
☞本書10ページ「ステップ3 手書き合成シートをスキャンして合成写真をプリントする」

できあがり!!

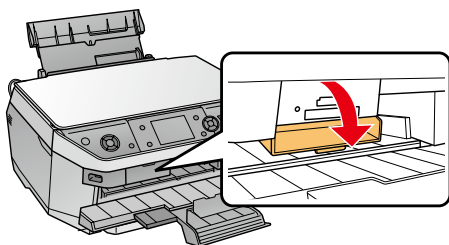
ステップ 1　手書き合成シートを印刷する

このステップで使うもの

合成する写真が入ったメモリカード（いずれか 1 枚）
（以降、コンパクトフラッシュカードの場合を例にご説明します。）

A4 サイズ普通紙
（手書き合成シート印刷用）

メモリカードの種類については 本書 3 ページ「用意するもの」をご覧ください。

1 電源をオンにします。

2 メモリカードスロットカバーを開きます。

メモリカードスロットカバーは止まるところまでしっかりと押し下げてください。

3 メモリカードを 1 枚だけ挿入します。

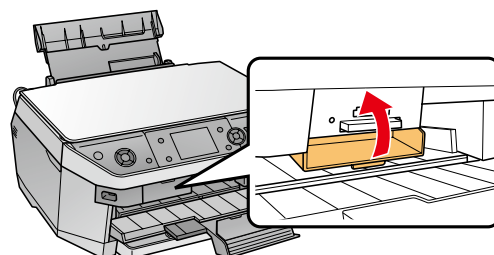
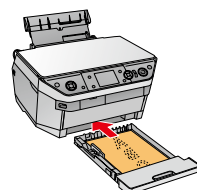
メモリカードの種類によって挿入するスロットが異なります。お使いのメモリカードとスロットの位置を確認してください。メモリカードが正常に挿入されるとメモリカードスロットランプが点灯します。

本製品に対応しているメモリカードについては、本書 3 ページ「用意するもの」をご覧ください。

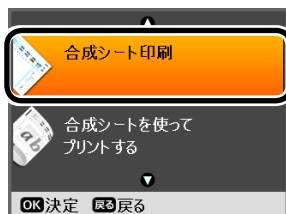
> **! 注意**
> ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを絶対に取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

> **参考**
> 複数のメモリカードを一度にセットしないでください。複数のメモリカードを同時にセットすると、目的のメモリカード（印刷したいデータが保存されているメモリカード）が認識されない場合があります。

4 メモリカードスロットカバーを閉じます。

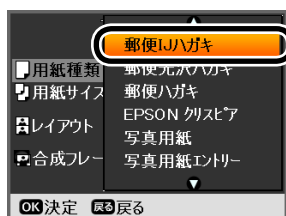
カバーを閉じないと、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤作動する場合があります。

5 手書き合成シートを印刷するための A 4 サイズの普通紙を、前面用紙カセットにセットします。

6 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

7 メニューの【手書き合成シート】を選択します。

8 【合成シート印刷】を選択します。

9 合成写真をプリントする用紙と、合成方法をあらかじめ設定しておきます。

手書きの文字やイラストを合成した写真をプリントするために、4 項目を設定します。

(1) 用紙種類： 合成写真をプリントする用紙種類を設定します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定
⑤ 【OK】ボタンで設定終了

(2) 用紙サイズ： 合成写真をプリントする用紙サイズを選択します。

(3) レイアウト：合成する写真をどのように配置するかを設定します。

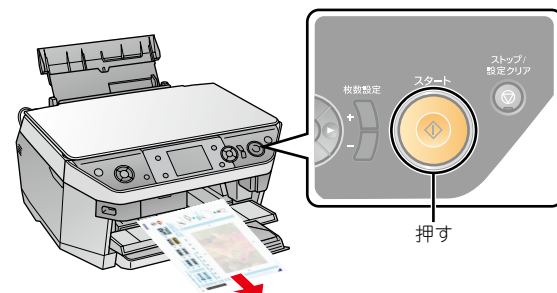
	用紙の上半分に写真がレイアウトされます。手書きの文字や絵は、白い部分だけでなく写真の上にも重ねて印刷できます。
	写真が全面にレイアウトされ、手書きの文字や絵はその上に重ねて印刷されます。
	用紙の下半分に写真がレイアウトされます。手書きの文字や絵は、白い部分だけでなく写真の上にも重ねて印刷できます。

(4) 合成フレーム：「楕円」に設定すると、合成する写真を楕円形にプリントします。「楕円ぼかし」に設定すると、楕円のフチをぼかします。

なし	楕円	楕円ぼかし

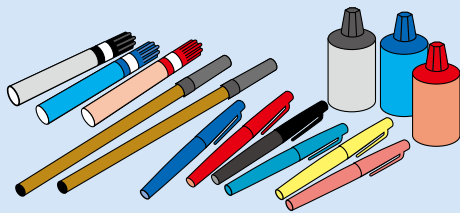
10 合成する写真を 1 つだけ選択します。

11 【スタート】ボタンを押して、手書き合成シートを印刷します。

押す

！注意

手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。合成写真を作成できなくなります。

手書き合成シートに記入する

このステップで使うもの

ペンなどの筆記用具

手書き合成シート
（ステップ１で印刷したもの）

※合成する写真が入ったメモリカードは、ここでは抜かないでください。合成写真を作成できなくなります。

印刷された手書き合成シートは、下図のようになっています。

PM-A920 手書き合成シート
EPSON
1 文字種類を選択します。 モコモコ文字 ふつう文字
2 文字飾りを選択します。 ABCD ABCD ABCD ABCD ABCD ABCD ABCD 囲んだ内側が白抜きになります。
3 印刷枚数を指定します。指定なしの場合は、1枚だけ印刷されます。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
文字や絵は、手順4の内側の太枠内に（1面レイアウトでは写真の部分に）濃い色のペンで書いてください。
選択用紙: 写真用紙スタンダードL判

Step 1 手書きの文字種類と文字飾りを1つずつ選択します

Step 2 印刷枚数を指定します

Step 3 手書きエリアに、合成したい文字やイラストを書き込みます

レイアウトエリアと手書きエリアの間に文字やイラストを書いても、写真には合成されません。

手書きエリア

写真が薄く印刷された太線の中のエリアのことです。（上半分 / 下半分のレイアウトの場合、写真が印刷されない部分も手書きエリアになります。）この中に書いた文字やイラストが合成されてプリントされます。シールやステッカーなどを貼ることもできます。

レイアウトエリア

＋マークを結んだエリアのことです。設定した用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小され、印刷されます。

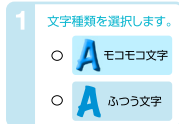
設定した用紙種類と用紙サイズが表示されます。この用紙をプリンタにセットします。

！注意

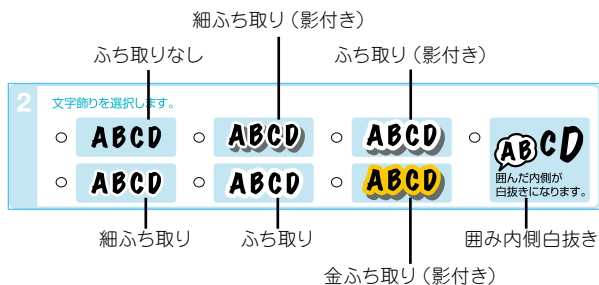
Step 1 で文字種類と文字飾り、Step 2 で印刷枚数を手書き合成シートにマークするときは、HB などの濃い鉛筆か黒い色のペンでしっかりと塗りつぶしてください。

正しい記入例

悪い記入例 しっかりと塗りつぶせていない 塗りつぶさずにチェックしている 塗りつぶしがはみだしている 塗りつぶしが薄すぎる

1 印刷された「手書き合成シート」上の 1 で、手書きの文字種類を１つだけ選択します（○を塗りつぶします）。

「**モコモコ文字**」は、文字やイラストを立体的な質感（タッチ）で合成します。
※ 2mm 以上の太いペンを使うとより効果的です。

「**ふつう文字**」は、文字やイラストをそのままの質感（タッチ）で合成します。

2 「手書き合成シート」上の 2 で、手書きの文字飾りを１つだけ選択します（○を塗りつぶします）。

上記のように記入した場合、選択した文字飾りにより、次のように合成されます。

ABCD

「**ふち取りなし**」は、文字やイラストをふち取らずに合成します。

ABCD

「**細ふち取り**」は、文字やイラストを細くふち取り、合成します。

ABCD

「**細ふち取り（影付き）**」は、文字やイラストを細くふち取り、影を付けて合成します。

ABCD

「**ふち取り**」は、文字やイラストをふち取り、合成します。

ABCD

「**ふち取り（影付き）**」は、文字やイラストをふち取り、影を付けて合成します。

「**金ふち取り（影付き）**」は、文字やイラストを金色でふち取り、影を付けて合成します。

「**囲み内側白抜き**」では線で囲んだ内側を白抜きにして合成します。

3 「手書き合成シート」上の3で、印刷枚数を指定します(○を塗りつぶします)。

3 印刷枚数を指定します。指定なしの場合は、1枚だけ印刷されます。
1○ 2○ 3○ 4○ 5○ 6○ 7○ 8○ 9○ 10○

4 「手書き合成シート」上の手書きエリアに、文字や絵などを書きます。

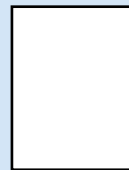
！注意

- 文字や絵は、かすれにくい筆記用具を使用してください。以下の文字やシール、ステッカーは、正常に合成されないことがあります。
  - ボールペンやシャープペンシルなどによる細い文字
  - クレヨンや色鉛筆などによるかすれた文字
  - 淡い色で書かれた薄い文字
  - 背景が手書きエリアに印刷された写真画像と同じような淡い色のシールやステッカー
    (☞ 本書 13 ページ「シールやステッカーの切り抜きなどが正常に合成されない。」)
  - 蛍光ペンなどの蛍光塗料で書かれた文字

  また、金色などの文字は、正しく色が合成されません。
- 手書きエリアの外側に書かれた文字や絵は、印刷されません。

ステップ 3　手書き合成シートをスキャンして合成写真をプリントする

このステップで使うもの

手書き合成シート
（「ステップ 2 手書き合成シートに記入する」で記入したもの）

合成写真の印刷用の用紙
（「ステップ 1 手書き合成シートを印刷する」で選択したもの。手書き合成シートに記載されています。）

1 合成写真をプリントするための用紙を背面オートシートフィーダにセットします。

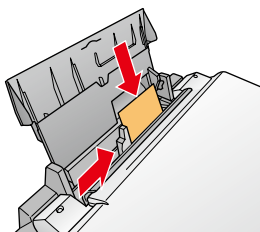
「手書き合成シート」上に、「ステップ 1 手書き合成シートを印刷する」の手順 9 で設定した印刷用紙が記載されています。確認の上、合成写真をプリントする用紙をセットしてください。

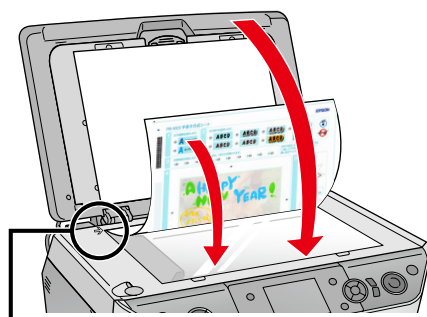
2 [合成シートを使ってプリントする] を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

参考

[合成シートを使ってプリントする] が選択されていないときは、次の操作を行ってください。

1.【ファンプリント】ボタンを押します。
2. メニューの [手書き合成シート] を選択します。
3. [合成シートを使ってプリントする] を選択します。

3 手書き合成シートを原稿台にセットします。

手書き文字が乾いていることを確認してから、図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

合成シートの▼マークを、原稿台の
マークに合わせる

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

合成結果が印刷されます。

**以上で手書き合成の手順の説明は終了です。
思い通りに文字やイラストが合成できない場合は、次ページ以降の「こんなときは」をご覧ください。**

こんなときは
- よくあるご質問 -

手書きエリアのフチまで書いたのに、写真のフチに印刷されない（思ったより内側に入ってしまう）。

手書きエリアの枠線は、写真のフチを表しているのではありません。手書きエリアの端に文字やイラストを書いた場合、以下のように、書いた内容が写真のフチよりも内側に印刷されます。

合成したい写真

＋

文字やイラストを手書きエリアの端に書いた手書き合成シート

＝

手書きエリアの端に書いた文字やイラストは、このように写真の少し内側に合成されます。

機能の仕様上、写真のフチまで手書きの内容を入れることはできません。

このように、周辺ぎりぎりに文字やイラストを入れることはできません。

こんな
ときは

文字や絵がかすれて、きれいに印刷されない。

手書きエリアの文字や絵は、書かれている文字や線の輪郭から形や範囲が認識されます。このため、線が細かったりかすれたりしていると、正しく認識されません。また、手書き合成シートに印刷されている文字や線、背景画像と同じような色のペンを使用すると、正しく認識されません。

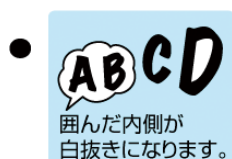
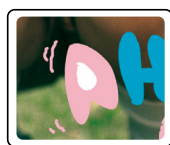
文字や絵がかすれたり切れたりしてきれいに合成できないときは、太いペンや濃い色のペンなどを使用して、できるだけ太く、はっきりと書いてください。

絵の一部が欠けてしまう。

手書き合成は、文字や線の部分のみ、または線の周囲ギリギリの部分を切り抜くため、線が途切れたり離れたりしている絵には不向きです。

絵を合成する場合は、絵を囲む（線をつなげる）ようにして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、絵全体が切り抜かれてうまく合成することができます。

こんなときは

文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、文字の一部まで白抜きになってしまう。

手書き合成シート上で
「囲み内側白抜き」を選択

「囲み内側白抜き」の機能の仕様です。

下図（A）のように文字全体を線で囲んでください。線で囲んだ内側が白抜きされて合成されます。また、文字飾りを「ふち取り」に設定すると、文字は（B）のように合成されます。ただし、（B）のように絵の中（顔の部分）が透過してしまいます。そのときは、濃い色のペンで塗り潰してください。

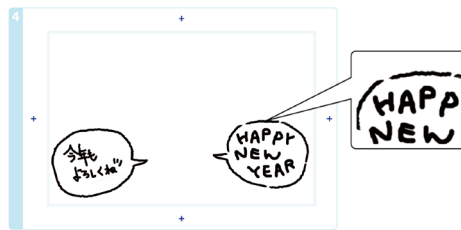
（A）

（B）

こんなときは

「囲み内側白抜き」に設定したのに、白抜きされない。

ボールペンの書き出しなどはインクが細かく途切れてしまい、しっかりと囲い線を囲めないことがあります。この場合、囲みを正しく認識できず白抜きされません。

「囲み内側白抜き」に設定したのに、白抜きされない場合は、しっかりと囲い線が囲まれているかをご確認ください。

こんなときは

用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった。

修正テープなどで汚れを消して、もう一度印刷をお試しください。

こんなときは

手書きの内容が等倍（100％）で印刷されない。

手書きエリアや印刷エリアは、印刷される領域の実寸を表示していません。書き込んだ内容は、用紙のサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されますので、等倍にはなりません。

こんなときは

手書きした文字がにじんでしまう。

手書き合成シートを印刷した直後は、まだインクが十分に乾燥していません。乾燥していないシートに水性ペンなどで文字を書き込むと、文字がにじんでしまうことがあります。手書き合成シートを十分に乾燥させてから、文字を書き込んでください。

こんなときは

手書きエリアの画像に位置を合わせて文字を書いたのに、合成結果がずれてしまう。

手書きエリアの画像は位置合わせの目安になりますが、合成結果とぴったり一致するものではありません。

また、手書き合成シートのスキャン時にシートが傾いてセットされていると、合成結果が大きくずれることがあります。

こんなときは

シールやステッカーの切り抜きなどが正常に合成されない。

シールやステッカーの切り抜きなどを貼る場合、シールやステッカーの背景が手書きエリアに印刷された写真画像と同じような淡い色だと正常に合成されないことがあります。シールやステッカーの背景が淡い色でも、濃い色でふち取りがあり、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定した場合は、実物のシールやステッカーに近い状態で合成されます。（背景の色は白くなります。）